中平 りえさん（美容師）

WAZA!!! 技

自分の店、やるなら生まれた場所で

1月初めの午後、米奥の小さな美容室「HARE（ハレ） HAIR（ヘア）」の店内には、20代女性と美容師の中平りえさん。中平さんが彼女の長い髪を手早く巻き、にぎやかな会話と共に仕上げ作業が進む。「元々、しゃべりは苦手。でも、大阪で鍛えられました」。

米奥で生まれ育ち、高知市内の短大では英語を学んだものの、「中学生の時からなりたかった美容師に」と大阪の美容学校へ進んだ。

幼い頃から絵を描くこと、ものを作ることが好き。「自分の得意を仕事にするなら」と考え、選んだのがこの仕事だった。それに、「美容師ならどこでも働ける」。不便だった田舎を離れたい気持ちもあった。

言葉通り、身に付けた技がどこへでも連れて行ってくれた。

卒業後、大阪の美容室で15年働いた後、ヘアメイクの仕事がしたいと東京へ。着付けもできるヘアメイクとしてテレビの仕事もこなし、街から街へと走り回る忙しい日々を経て、「仕事のやり方や想いを伝えるには、自分の店をやるしかない」と、磨き上げた技を持って選んだ場所が四万十町だった。3年間、別の美容室で働きながら準備を進め、2019年にこの店をオープンさせた。それも、人の多い中心部ではなく、米奥の、生まれ育った家の目の前。

理由は「生まれた場所だから」。目の前には田畑が広がり、少し行けば四万十川。住人は減っているけれど、たくさんの見知った顔がこの店を、自分を訪ねて来てくれる。「まちには美容室はあるけれど、米奥にはない。歩いて行けるところにお店があることで、暮らしの質は変わる」。いつでもきれいでいられるように、いつの日もハレの日であるように。そう願って店の名前を付けた。

日々、人の髪に触れるから気づくことがある。「髪の健康のためには食べ物や規則正しい生活が大事。これからは、きれいな髪でいる方法を伝えることにも力を入れていきたい」。

仕上げが終わり、見送りの準備に入る。窓の外では雪が降り始め、雲の切れ間から差し込む光が、ふわふわと舞う雪を優しく照らしている。

ちょいwaza!! 町にはこんなwazaも

キャプテンとしてチーム引っ張る！ 岡峯（おかみね） 藤真（とうま）さん 十川小学校5年

十川スポーツ少年団の新キャプテン。3月にはソフトボールの全国大会に出場する。チームを引っ張る役割は前キャプテンの姿から学んだ。「選手宣誓は初めてで緊張したけど、『大きな声で、ゆっくり』と父ちゃんに聞いて、うまくできました」。打撃が得意。一塁手。

こだわりの「技」できらりと光る四万十町の人々を紹介します。
ちょいwaza!!は随時募集中！▶

窪川高校の魅力を発信！

三年坂 information

窪高ホームページ

KUBOKAWA_HIGH_SCHOOL

デジタルラボ始動

令和6年度、文部科学省指定のDXハイスクール推進事業が県内9校で始まり、本校は県西部、中山間校において唯一の指定を受け、デジタルものづくりやプログラミングが学べる「デジタルラボ」を北校舎3階に開設しました。昨年11月に開催された新文化祭でデジラボの施設がお披露目され、訪れた方が実際に設備を体験しました。今後は町内の皆さまにも使っていただけるように準備をしていきます。

現在はクリエイティブ部の生徒がUnity講座をオンラインで受講してゲーム制作を学んだり、iPadでイラストを描いたり、さまざまな授業で機器を使用するなどして活用しています。

ますます発展する情報社会に対応し、貢献できる技能を持つ人材を育成するとともに、デジタル分野の進路にもつなげられるよう取り組んでいきます。

(上)3Dプリンター制作作品
(中)多色印刷3Dプリンター
(下)レーザーカッターやUVプリンターも完備

(上)クリエイティブ部生徒が受講しているUnity講座でゲーム制作
(下)放課後にデジラボで活動している様子

お披露目された新文化祭の様子　(左)VR体験 (中)マインクラフトやクリエイティブ部部員制作のゲーム体験 (右)iPadでイラスト制作体験

じゆうく。

#地域で挑戦する、高校生たち

「じゆうく。」では生徒が、授業内外・学年を問わず、日常的に自分の進路に向き合っています。実現に向けて動くことはもちろんのこと、こうして未来のことを考える時間そのものにも大きな価値があるのだろうなと思います。納得のいく進路選択ができるように、引き続きサポートしていきます！

【お問い合わせ先】 町営塾「じゆうく。」 ☎050-5482-3339
人材育成推進センター ☎22-3163